

【22_276技術系メルマガ】『目線』の固定と切替え

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

僕のメルマガを読んだりして『型』の深掘りをしている人は特に

トレードする前に上位足の環境から『目線の固定』をすることを習慣づけている人も多いかと思います。

僕も、主戦場となるマーケットはロンドンなので、14時頃から『MA収縮などのセットアップ』の整い具合を見つつ

直近攻めたい通貨ペアと『目線』の絞り込みを行います。

ですが、あくまで『目線』はこっちが勝手に決めているだけの事。それが否定されることだって日常茶飯事なわけです。

慣れないうちは、そうなったらその日はトレードを控えよう。。となりますが

またその日1日、トレードに費やしたエネルギーの浪費感に堪えられず、つい無駄なエントリーをしてしまったりするものです。

また、デイトレの基本は、自分の『型にはまるパターン』を探し、それに応じたエントリーを繰り返す作業ですから

時には自分が前もって決めておいた目線と違う動きによって生じる『型(パターン)』が出てくることもあります。

今回は、ちょっと応用編。自分の『目線』と違う動きになった時、デイトレーダーとしてどう立ち回るか？という話をしようと思います。

□
■ 『目線が否定』されることによって、生き返る通貨ペアもある

サブタイトルで今日のメインの内容を回収してしまったようなものですが(笑)

冒頭でも話したように、そもそも『目線』というのは自分の分析に基づいて勝手に決めているものであり、相場がその後どう動くかは関係ありません。

あくまで、自分がイメージできる『こうなったら、こうする』というシミュレーションをしておき

いざその型になった時に迷わないために『目線』を固定するわけです。

であれば、その型に適合せず、『目線が否定』されたのであれば、直ちにその事実を受け容れなくてははいけません。

慣れないうちは、前もって決めた目線が否定された時点で『様子を見る(値動きの傾向を見て、後の検証に活かす)』事を徹底してほしいですが

既に型が定まって、実践(フォワードテスト)まで進んでいる人は

もう少し踏み込んで、『目線が否定されたことで、事前に自分が切り捨てたチャートをもう一度見直す』ことを

やってみてください。

最初に捨てた通貨というのは、“その当時の『目線』で捉えるなら”という条件だったはずですから

今までの条件が否定されたのであれば、逆にその通貨が息を吹き返して、その後『型通りのセットアップ』を作ってくれる可能性も出てきます(もちろん、絶対ではありませんが)。

このような切り替えを素早くできるように、前もって『目線』を固定すると同時に

それが崩される条件も考えておくこと。

そして、それが適用されたら即その『目線』自体を切り捨て、様子を見るなり、目線の否定によって生じる『生き返る通貨の型』をチェックする。

このような意識で目線の切り替えをする作業をルーティン化してみてください。

決して、最初に決めた目線に執着してはいけません。

その辺について、自分を戒めた(笑)ツイートが過去にあるので、載せておきますね

▼当時のツイート▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1543068429561008128>

僕もちょっと油断すると、自分の最初に作った目線に囚われすぎて

目線が崩れた後の、それによって生じた新たなチャンスを見落としていた。。

なんてことがよくあります。

今では、昔に比べればマシンにはなったものの、僕の思考のクセなのか

切り替えが遅いなあと感じることもあります。

この辺は、僕も日々の訓練で少しずつ調整をしていく必要があります。

今日は少々難しい話だったかもしれませんが、自身への課題でもあるポイントを

僕の視点で言語化してみました。

早くも今年残り90日を切りましたが、気負い過ぎずお互い頑張っていきましょう。